国語科の授業改善に向けた学校支援

～説明文教材における「読み」「書き」関連指導を中心に～

連携協力校　上越市立下黒川小学校
アドバイザー　松本　修　教授
担当特任教員　小林　志郎　特任教授
寺田　喜男　特任教授

チームメンバー
阿部裕子　豊本英嗣　中島達彦　本田修

研究主題

読みとったことを活用して書くための指導法の工夫と改善

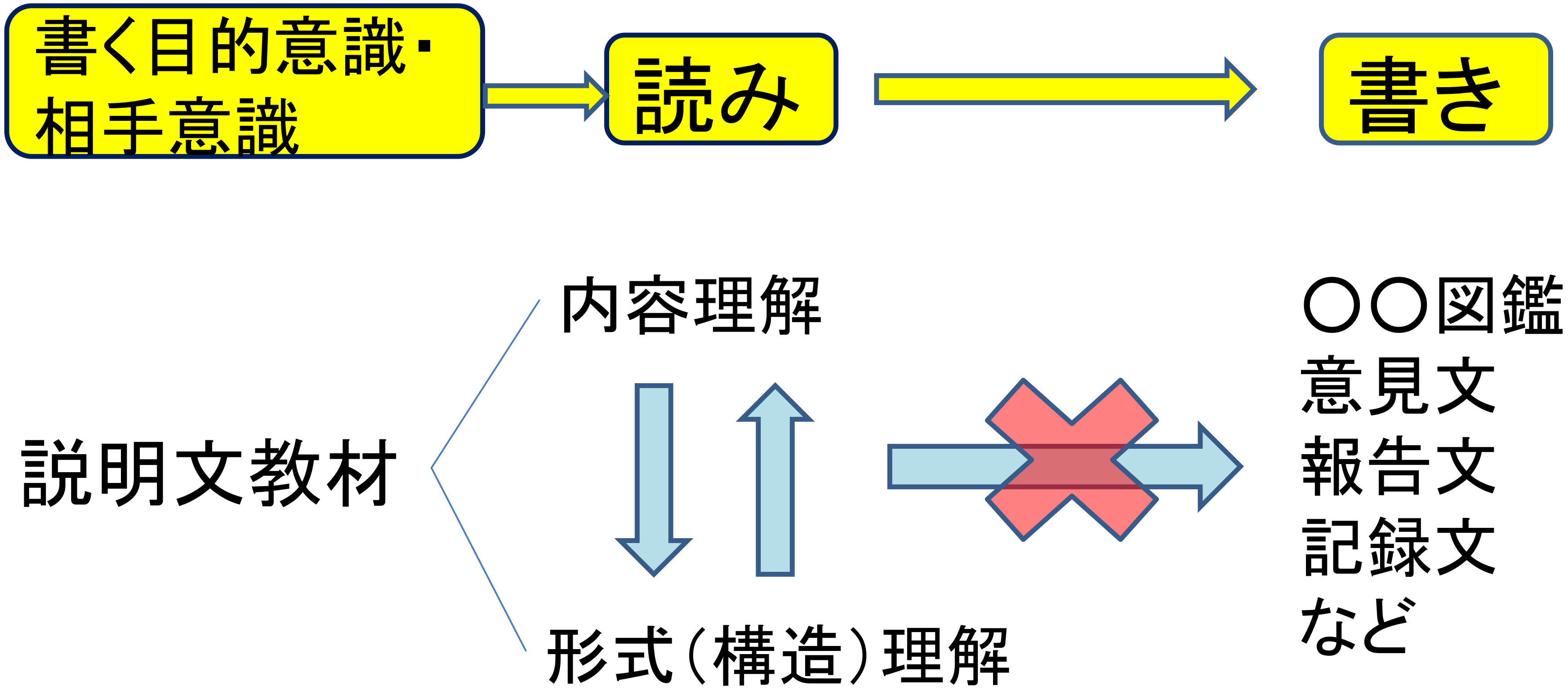
～説明文教材における「読み」「書き」関連指導～

何を読みとるのか
どのように活用するのか
何を書くのか
・・・・・・・・

読解力向上プログラム（平成17年12月　文部科学省）

【目標①】
テキストを理解・評価しながら読む力を高める取組の充実
【目標②】
テキストに基づいて自分の考えを書く力を高める取組の充実
【目標③】
様々な文章や資料を読む機会や，自分の意見を述べたり書いたりする機会の充実

読んでから書く　→　書くために読み、書く



「読み」と「書き」を関連させた学習過程

1　ゴール（めあて）をつくり、児童に示す。

2　めあてを達成する力を付けるために、
どういう力が必要か確かめる。

3　教材文を使って書きの形式を学習する。

練習ステップ

4　学習した形式を使って文章を書く。

支援経過の概要

- ６月　６年生授業公開、協議会
- ７月　５年生授業公開、協議会
- ８月　２学期の研究授業（４年・１年・３年・５年）
　　　　指導案検討
- ９月（～１２月）教育活動全般への支援
　　　　豊本　１年生を中心に
　　　　中島　６年生を中心に
　　　　阿部　本田　研究推進を中心に
- ９月　４年生授業公開、協議会
- ９月　１年生授業公開、協議会
- １０月　２年生授業公開、協議会
- １１月　３年生・５年生支援
- １１月２４日
　学習指導改善調査研究事業報告会

１年生の授業研究

単元名「じどう車ずかんをつくろう」

教材名「じどう車くらべ」（光村図書１年上）

１年生の授業研究

- 昨年度の実践における課題

・自動車図鑑を「書く」際に、練習ステップで書いた図鑑を確認し、
自動車図鑑を書かせるべきであった。

・「読み」の際に、「そのために」というキーワードの意味をしっかりと押さえておらず、「書く」際に、「しごと」と「つくり」の関連が図れていない児童がいた。

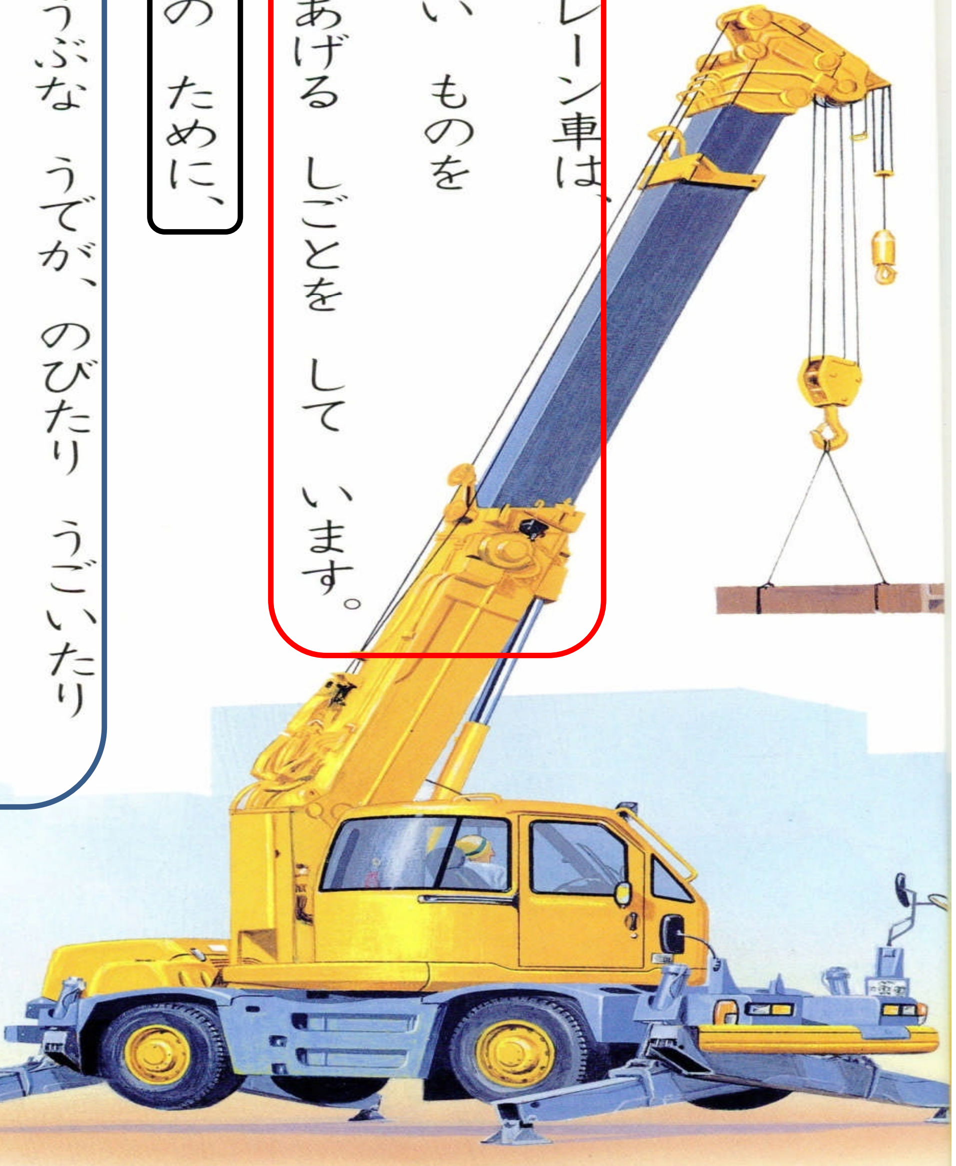
しごと

クレーン車は、
おもい　ものを
つりあげる　しごとを　して　います。

その　ために、

つくり

じょうぶな　うでが、のびたり　うごいたり
するように、つくって　あります。
車たいが　かたむかないように、
しっかりした　あしが、ついて　います。



クレーン
クレーン
のばす　しるし。

１年生の授業研究

１　ゴール（めあて）をつくり、児童に示す。

「自動車図鑑を作り、家族や二年生に見せよう」というゴールを設定することにより、相手意識や目的意識を持たせる。

１年生の授業研究

２　めあてを達成する力を付けるために、
どういう力が必要か確かめる。

「しごと」と「つくり」という形式を理解させた上で、「そのために」という言葉の役割を理解する力が必要。

1年生の授業研究

３　教材文を使って書きの形式を学習する。

・「しごと」と「つくり」という形式を色分けし、友達と説明しあうことで理解する。

・「そのために」という言葉の意味を確認する。

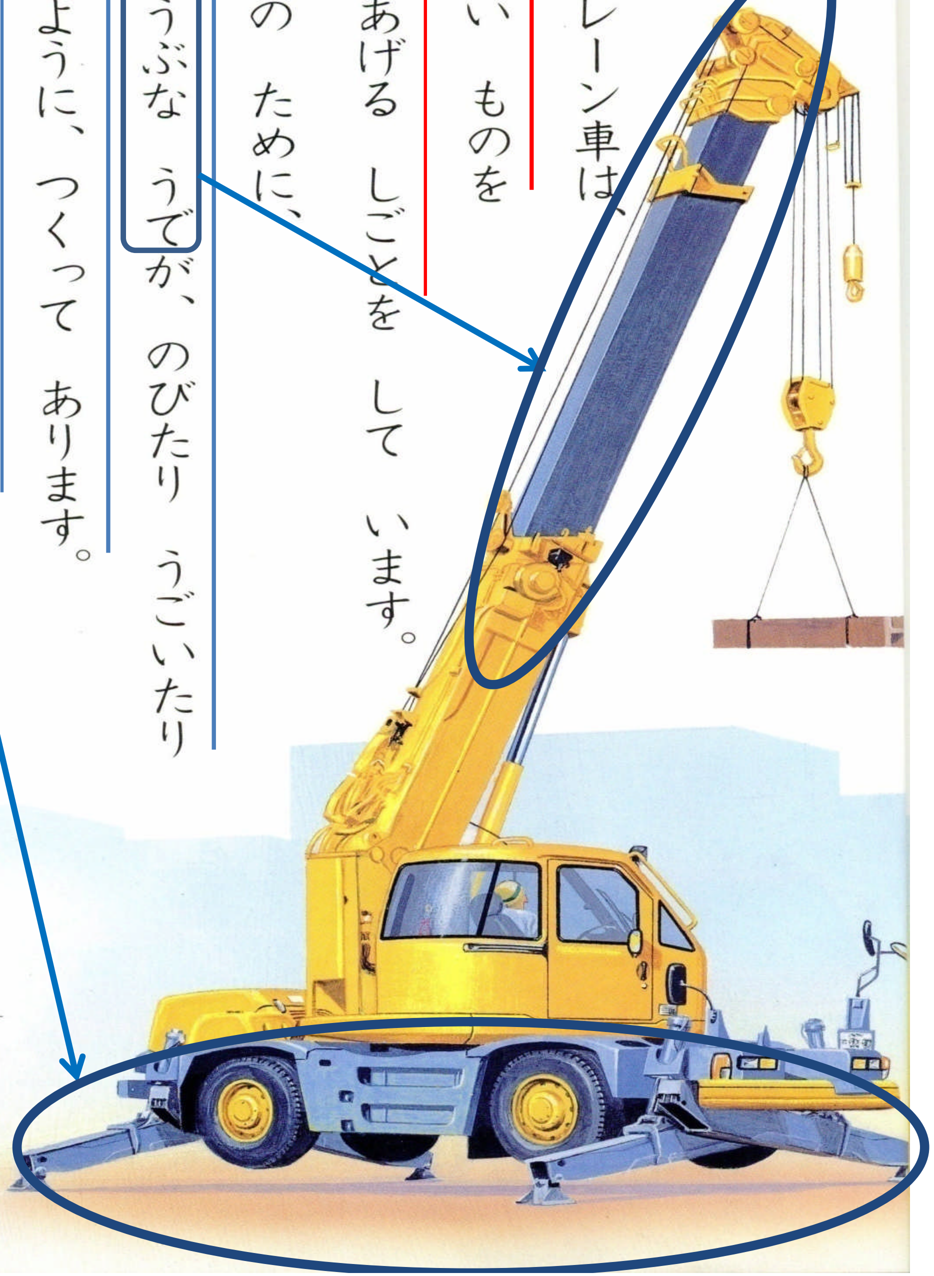
・練習ステップとしてはしご車を題材に、自動車図鑑を書く。

1年生の授業研究

３　教材文を使って書きの形式を学習する。

・「しごと」と「つくり」という形式を色分けし、友達と説明しあうことで理解する。

クレーン車は、
おもい　ものを
つりあげる　しごとを　して　います。
その　ために、
じょうぶな　うでが、のびたり　うごいたり
するように、つくって　あります。
車たいが　かたむかないように、
しっかりした　あしが、ついて　います。



クレーン▲▲
クレーン
のばす　しるし。

１年生の授業研究

３　教材文を使って書きの形式を学習する。

・「しごと」と「つくり」という形式を色分けし、友達と説明しあうことで理解する。

・「そのために」という言葉の意味を確認する。